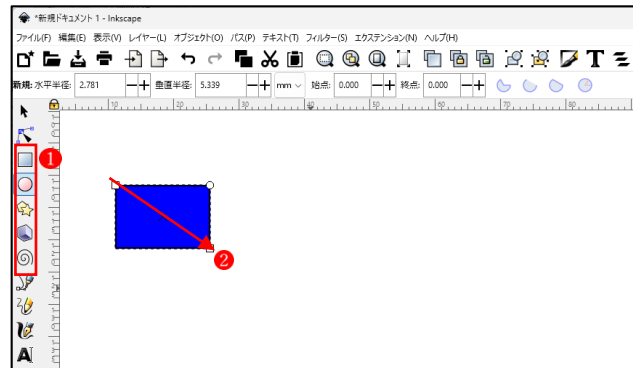


1/04 基本操作チュートリアル

1 オブジェクトを作成する

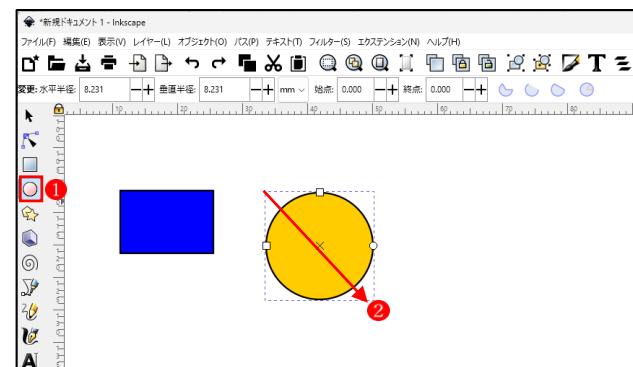
1 ツールを選択してドラッグする

[矩形ツール]や[円／弧ツール]などのシェイプ系ツール①を選択してドラッグすると②、オブジェクトを作ることができます。



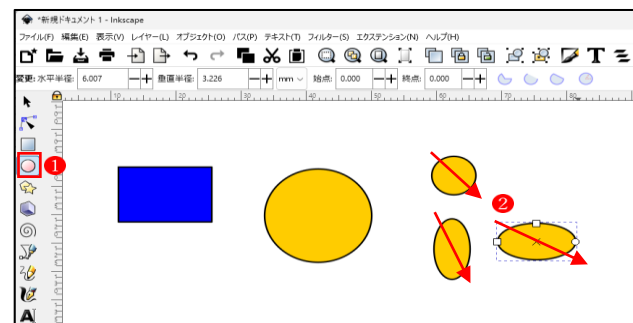
2 ツールを切り替えて描く

ツール①を切り替えれば、同じ操作で別の図形②を描くことができます。



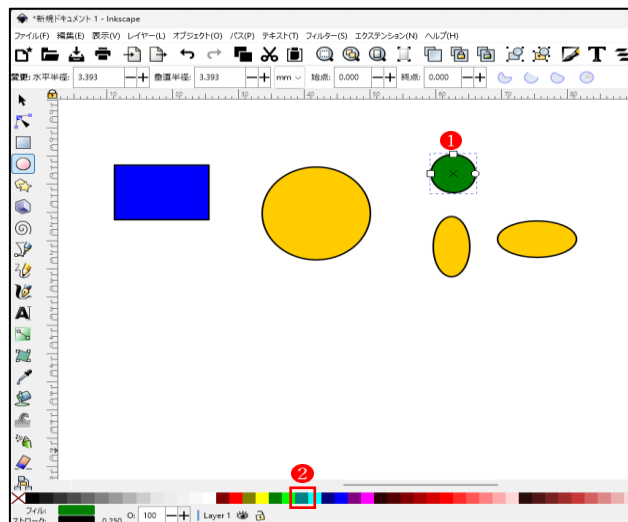
3 連続して描く

1つのツール①を選択した状態で連続してドラッグすると②、同じツールのオブジェクトを連続して作ることができます。



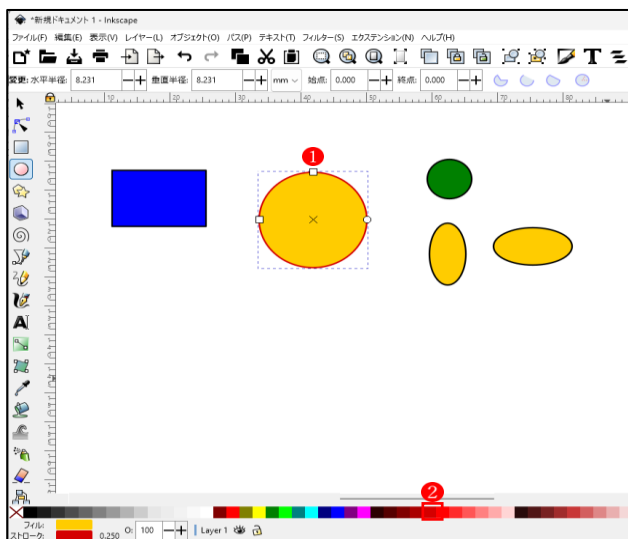
4 フィルを変更する

オブジェクトの塗られている色を[フィル]と呼びます。作成したオブジェクトのフィルを変更するには、オブジェクト①を選択し、カラーパレットの中の変更したい色②をクリックします。



5 ストロークを変更する

ストロークの色を変更するには、オブジェクト①を選択し、カラーパレットの中の変更したい色②を Shift を押しながらかlickします。



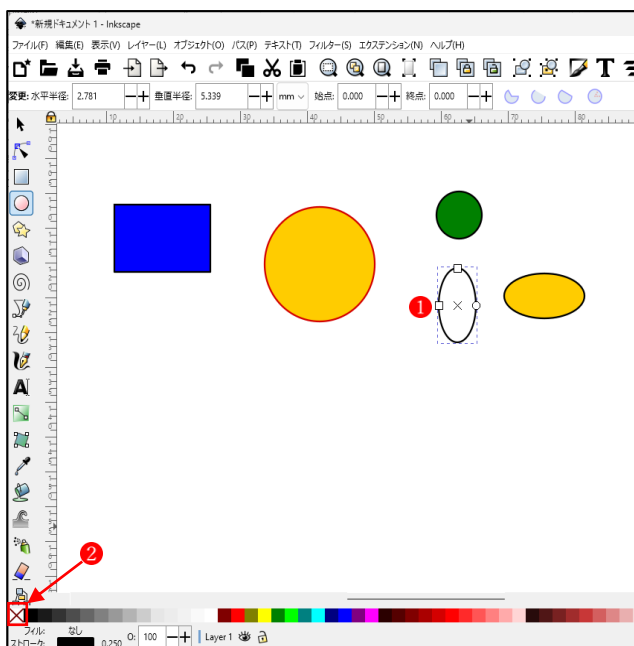
MEMO ストローク

ストロークとはオブジェクトの輪郭線のことです

6 フィルやストロークをなくす

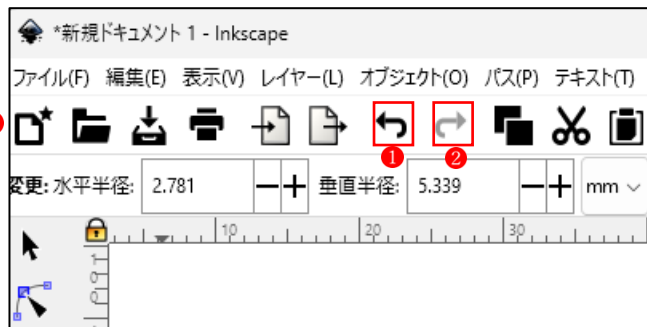
フィル色をなくすには、オブジェクト①を選択し、カラーパレットの[なし]②をクリックします。

ストロークの色をなくすには、オブジェクト①を選択し、Shift を押しながらかlickカラーパレットの[なし]②をクリックします。



Step Up 元に戻す／やり直す

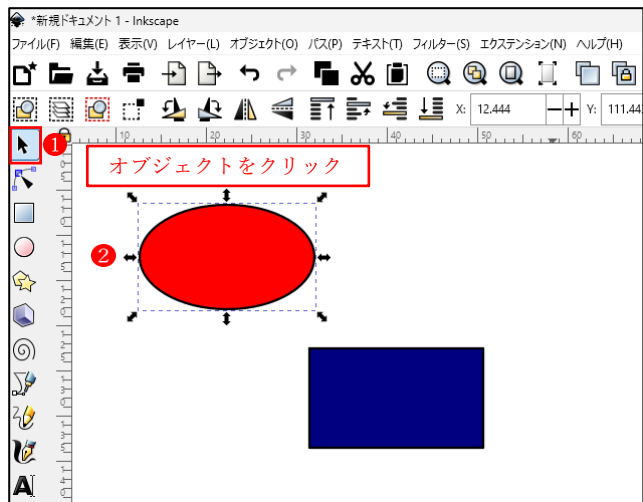
操作を1つ元に戻したり、やり直すにはコマンドバーの矢印を使います。左向き矢印①を1回クリックすると、操作が1回取り消されます (Ctrl + Z)。右向き矢印②を1回クリックすると元に戻したい操作を1回分やり直すことができます (Ctrl + Y)。



2 オブジェクトの選択と移動

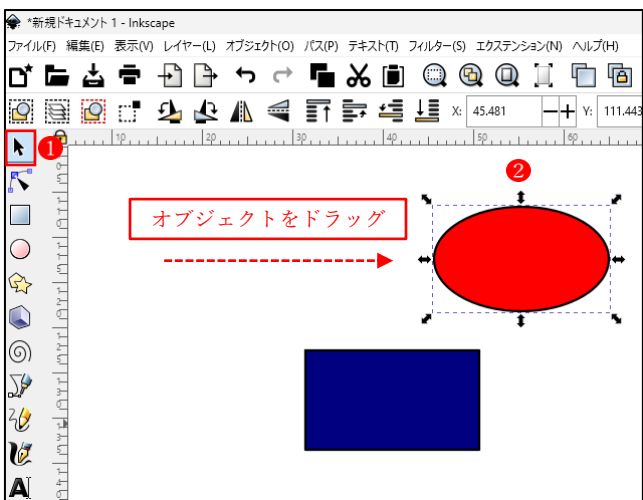
1 選択ツールでクリックする

[選択ツール]①をクリックし、選択状態にします。その状態でオブジェクト②をクリックすると、オブジェクトが選択状態になります。



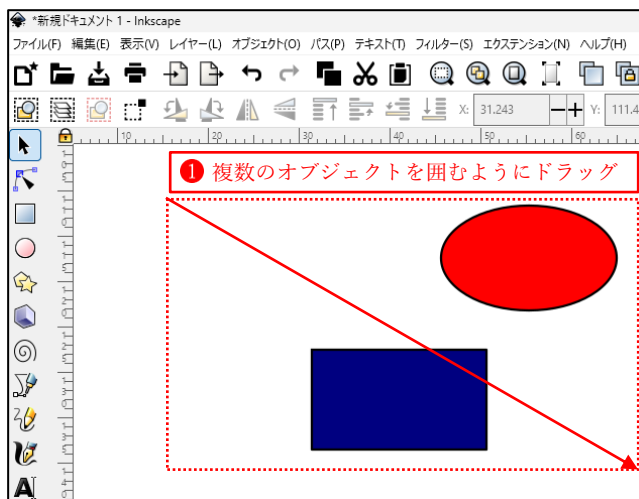
2 選択ツールでドラッグする

選択ツール①を使ってオブジェクト②をドラッグすると、オブジェクトを移動することができます。



3 複数選択する

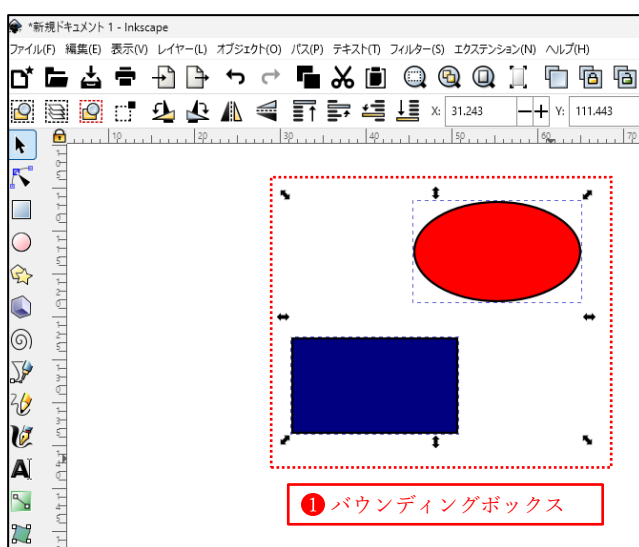
選択ツールでオブジェクトを囲むようにドラッグ①します。



4 囲まれた範囲を複数選択できる

ドラッグした範囲に含まれているオブジェクトを複数選択することができます。

選択されたオブジェクト周辺に矢印が表示されます。この範囲を[バウンディングボックス]①と呼びます。



Step Up 選択ツールへすぐに切り替える

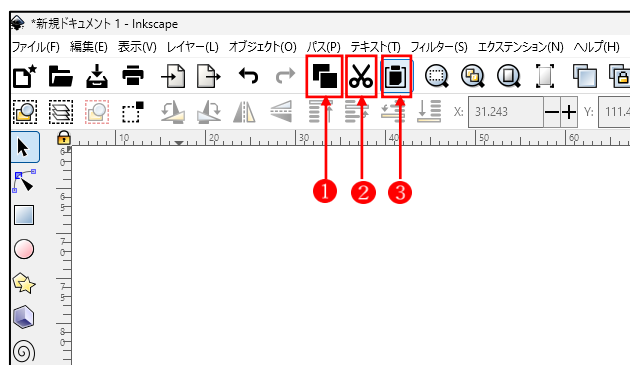
選択ツール以外が選ばれているとき、Space キーを1回押すと選択ツールへ切り替えることができます。もう1度Space キーを押すと元のツールに切り替わります。

3 オブジェクトの切り取りと貼り付け

1 切り取り/コピー/貼り付けの基本

[コピー]①や[切り取り]②、[貼り付け]③のコマンドはコマンドバーに設置されています。

オブジェクトを選択して、切り取りやコピーをするとクリップボードへオブジェクトの情報が保管されます。

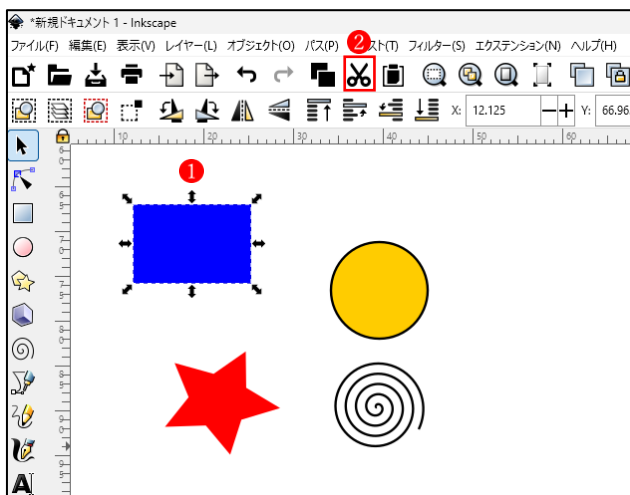


2 オブジェクトを切り取る

選択ツールで切り取りしたいオブジェクト①を選択して、コマンドバーの[切り取り]②をクリックします。するとオブジェクトが切り取られます。

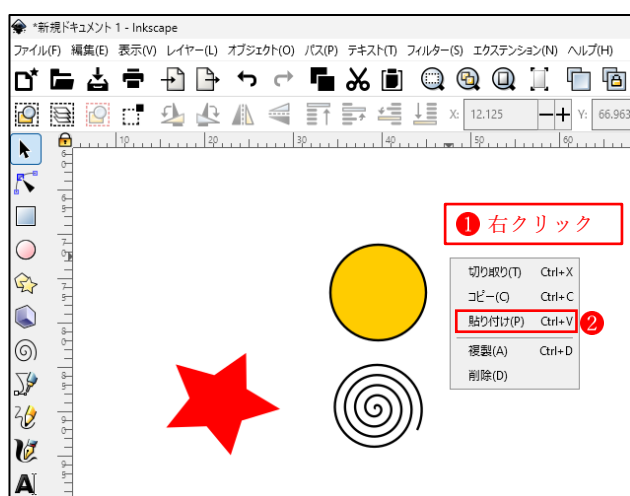
MEMO ショートカットキー

Ctrl + X で切り取りを行うことができます。



3 切り取ったオブジェクトを貼り付ける

切り取ったオブジェクトはいったんキャンバスから消えますが、クリップボードに情報が保管されています。切り取ったオブジェクトを貼り付けるには、貼り付けたい箇所で右クリック①し、メニューから[貼り付け]②をクリックします。

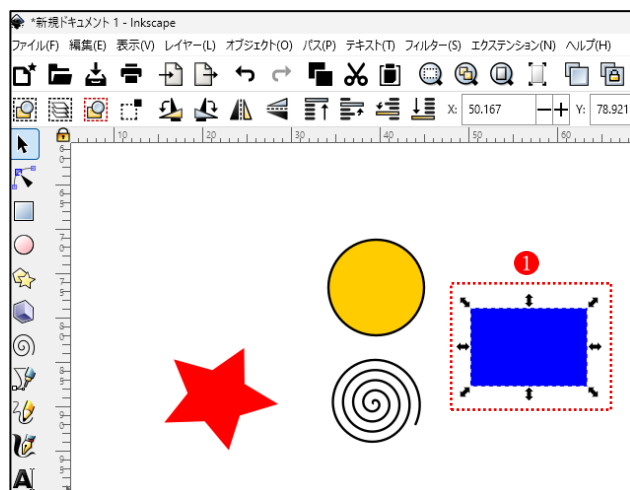


4 オブジェクトが貼り付けられる

マウスマウスの位置へ切り取ったオブジェクト①が貼り付けられます。

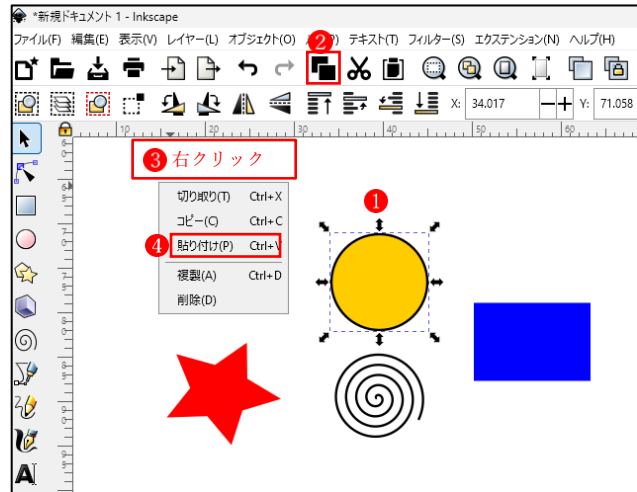
MEMO ショートカットキー

Ctrl + V で貼り付けを行うことができます。



5 オブジェクトをコピーする

コピーしたいオブジェクト①を選択して、コマンドバーの[コピー]②をクリックすると、クリップボードにオブジェクトの情報が保管されます。右クリック③して[貼り付け]④をクリックすると、マウスイカーソルの位置にコピーを貼り付けることができます。



MEMO ショートカットキー

Ctrl + C でコピーを行うことができます。

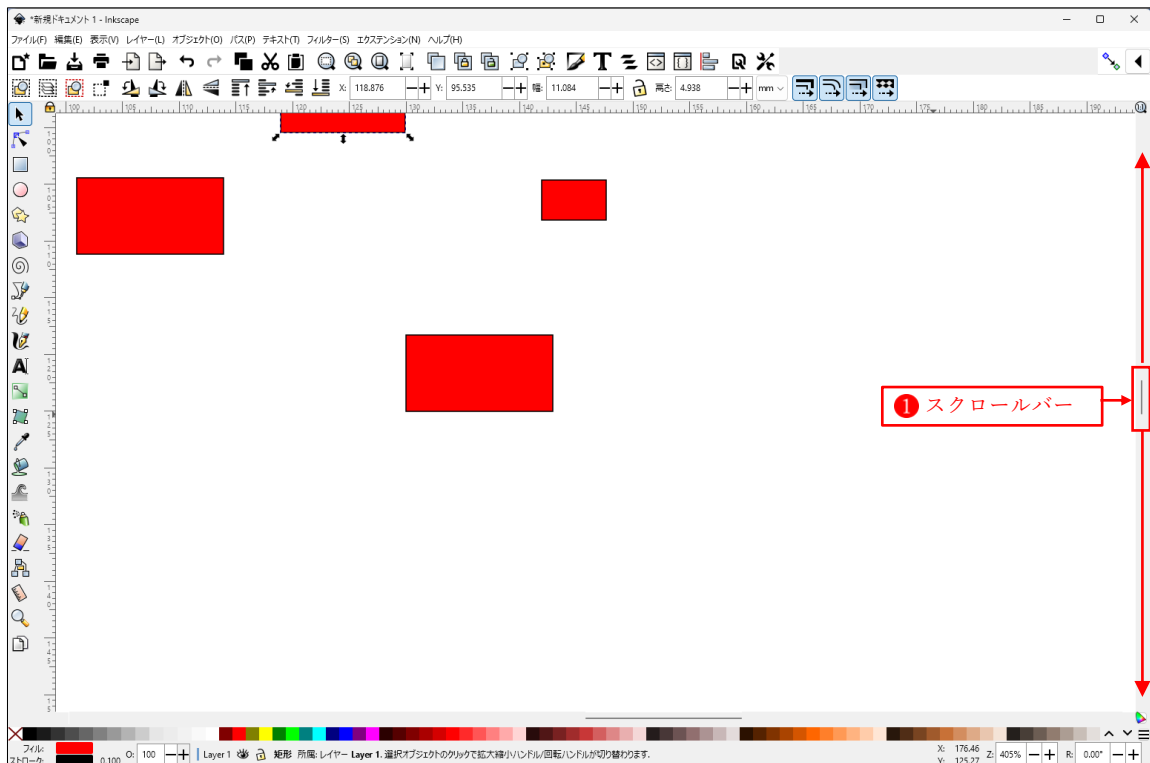
Step Up 選択ツールへすぐに切り替える

オブジェクトを、「切り取るのではなく、削除する」には、オブジェクトを選択して、キーボードの Delete を押します。

4 キャンバスの表示位置を変える

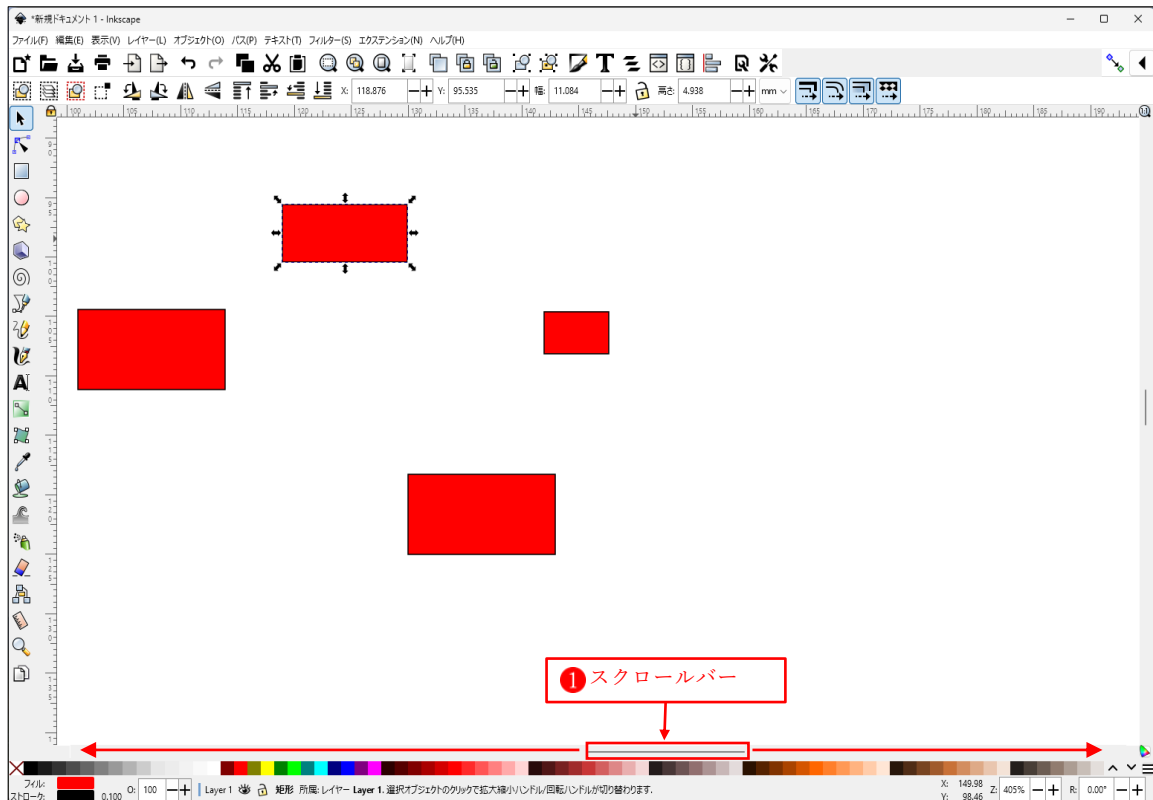
1 スクロールバーを動かす

キャンバスは縦横に無限に広がっています。画面に表示される部分を移動するには、[スクロールバー]①をドラッグして表示位置を変えます。



2 キャンバスがスクロールされる

はみ出ていたオブジェクトが表示されるようにキャンバスがスクロールされました。
横方向のスクロールも同じように[スクロールバー] ①をドラッグして表示位置を変えることができます。



MEMO キャンバスを掴んで移動

キャンバス上で **Space** を押しながらドラッグすると、キャンバスを掴んで表示位置を変えることができます。

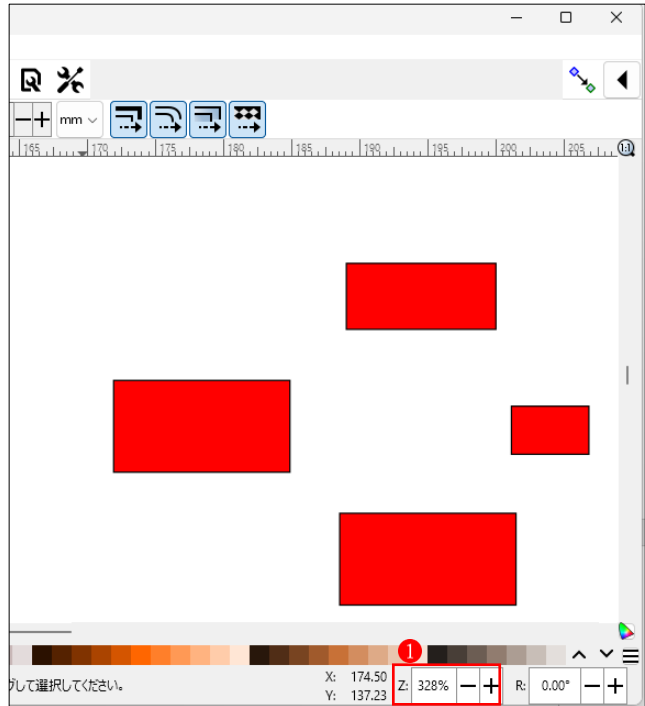
Set Up マウスホイールでスクロールする

マウスホイールを上下に回転させると縦方向にスクロール、**Shift** を押しながら回転すると横方向にスクロールされます。

5 キャンバスのズームを変更する

1 ズーム率を変更する

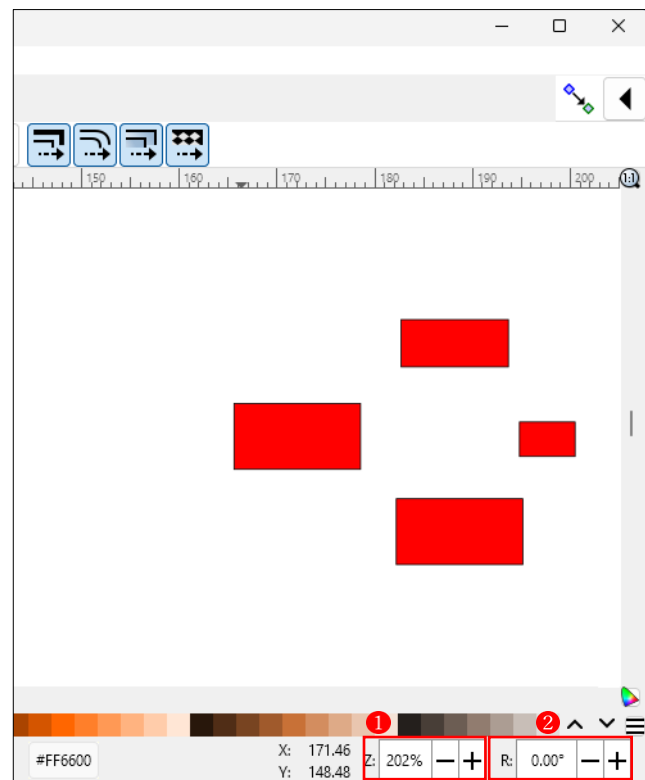
ステータスバーの右側にあるズーム①の割合を変化させると、キャンバスのズームを変更することができます。



2 ズームが変更される

ズームが変更されました。
[+][-]のボタンで段階的に変更することもできますし、数値を直接入力することもできます。

◇ なお、[回転]②の割合を変化させると、キャンバスを回転させることができます。

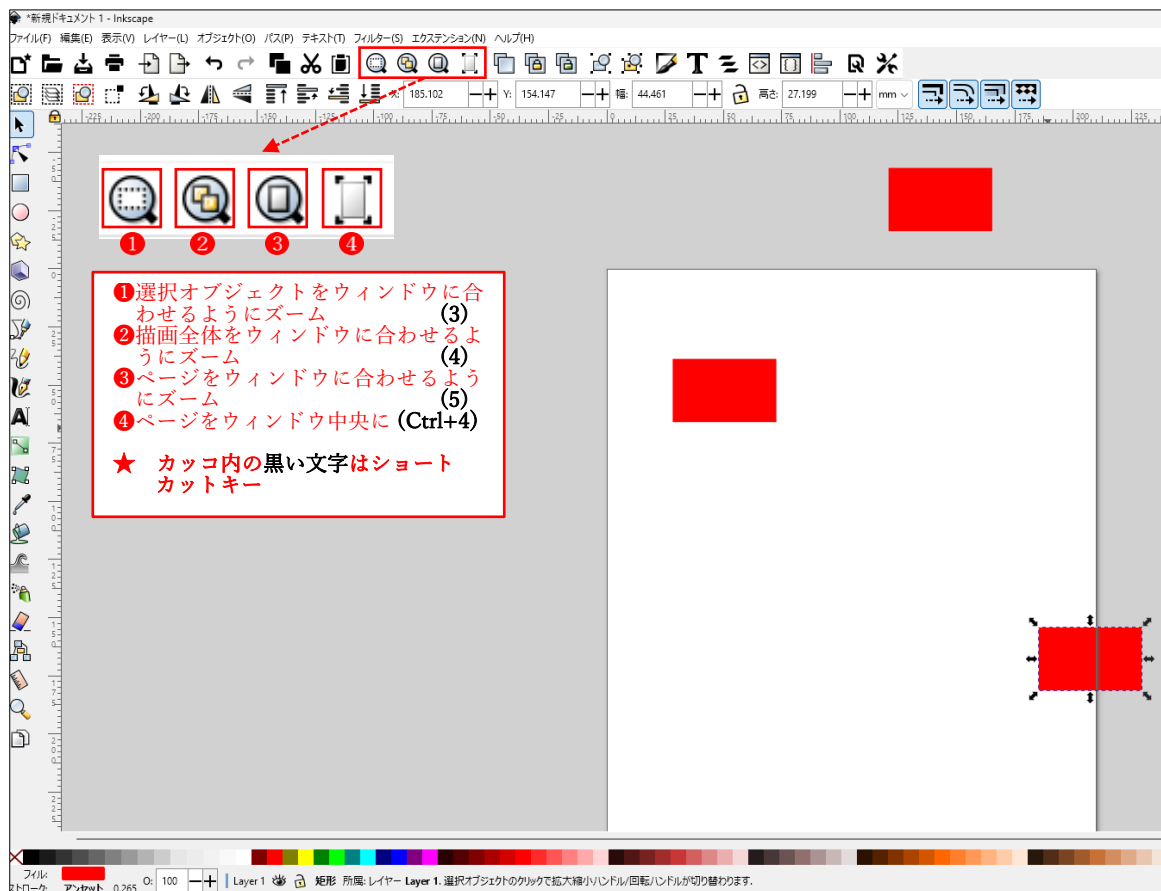


MEMO マウスでのズーム

Ctrl を押しながらマウスホイールを上下に回転させてもズームを変更できます。

3 コマンドバーでのズーム

コマンドバーのズームの変更を利用すると、目的のズーム率へ自動的に変更されます。



4 ページ全体を表示する

[③ ページをウィンドウに合わせるようにズーム(5)]をクリックすると、ドキュメント設定で設定したページが画面いっぱいに収まるようにズームされます。

ページの原点がどこにあるかわからなくなったときに、素早く移動してページの原点に戻ることができます。

5 すべてのオブジェクトを表示する

[② 描画全体をウィンドウに合わせるようにズーム(4)]をクリックすると、キャンバス上のすべてのオブジェクトが表示されるようにズームが変更されます。

描画全体を表示するので、どこに置いたかわからなくなってしまったオブジェクトを見つけることができます。

6 選択オブジェクトにズームする

選択ツールで拡大表示したいオブジェクトを選択して、コマンドバーの[① 選択オブジェクトをウィンドウに合わせるようにズーム(3)]をクリックします。

複数のオブジェクトを選択することも可能です。

この場合、選択されているオブジェクトのバウンディングボックスに合わせてズームが変更されます。特定のオブジェクトを拡大表示して編集する場合などに役に立ちます。

7 ページをウィンドウ中央に表示する（ズームはしない）

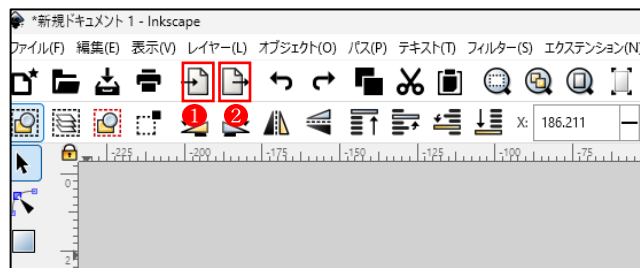
[**4**] ページをウィンドウ中央に(Ctrl+4)]をクリックすると、元のサイズのままでページがウィンドウ中央に表示されます。

6 画像のインポート／エクスポート

1 インポート／エクスポートコマンド

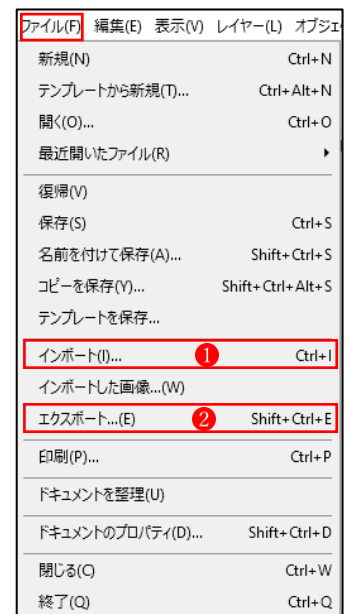
画像をインポート／エクスポートするにはコマンドバーを利用します。

画像の[インポート] **1** はJPGやPNGなどのビットマップ画像やSVGなどのベクター画像を、SVGファイルの中へインポートする機能です。



[エクスポート] **2** では、SVGのベクター画像を解像度を設定して、JPGやPNGのビットマップ画像へエクスポートすることができます。

✧ 画像のインポート／エクスポートは、[ファイル]メニューから利用することもできます。



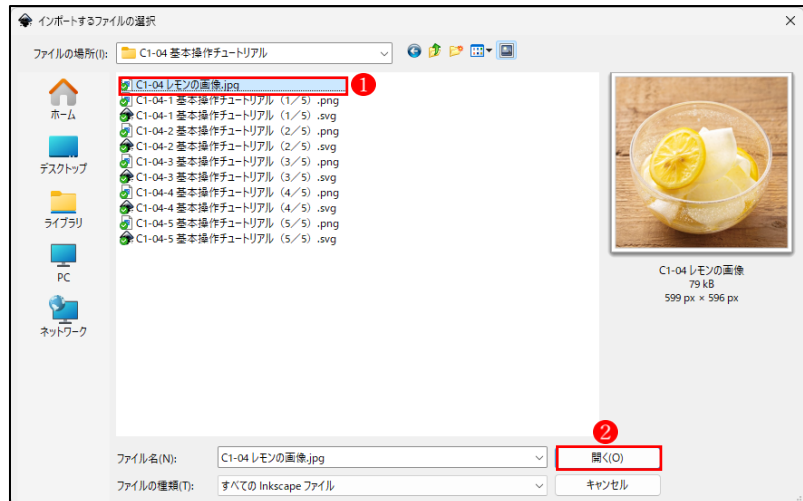
2 インポートする

コマンドバーの[このドキュメントにビットマップまたは SVG 画像をインポート] **1** をクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。



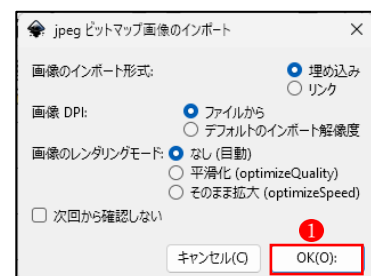
3 ファイルを選択する

パソコンに保存されているファイルから、インポートする画像 **1** を選択して[開く] **2** をクリックします。



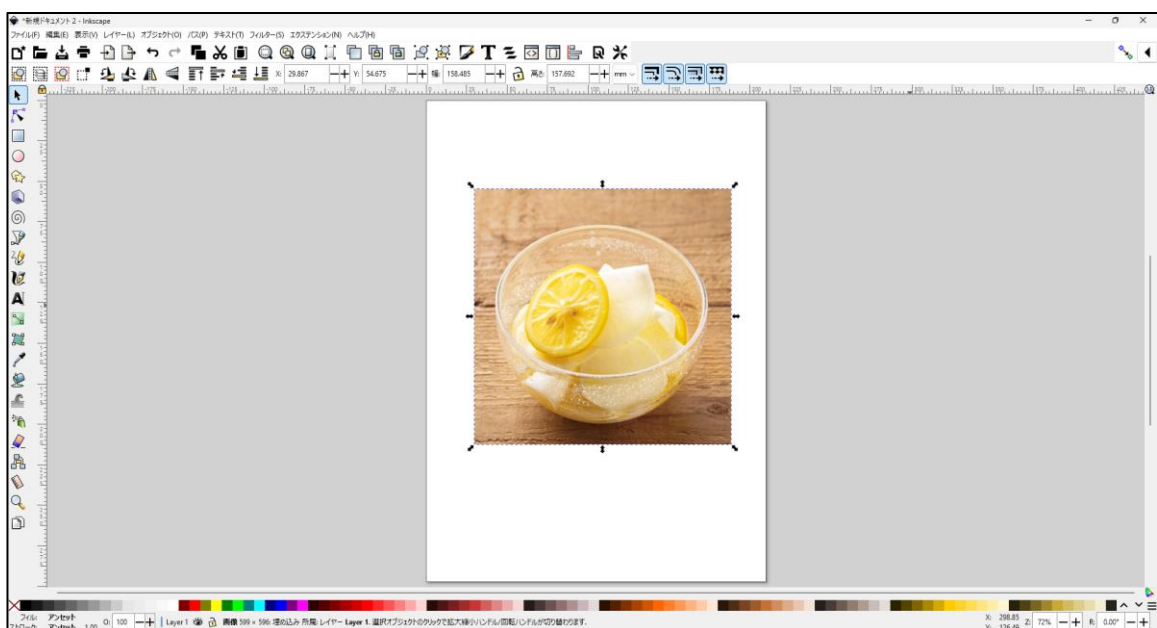
4 インポートの設定

インポートのオプションが表示される場合、そのままの状態ですべての状態で[OK] **1** をクリックします。



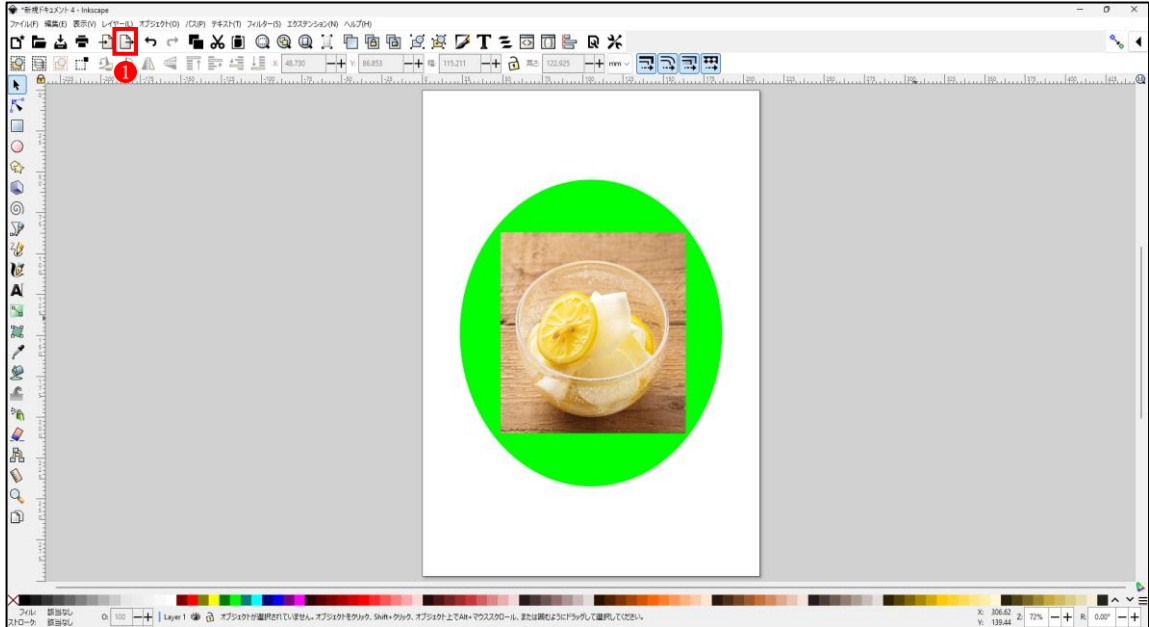
5 インポートされる

画像がインポートされました。選択ツールに切り替えると画像を移動することができます。



6 エクスポートする

インポートした画像と適当に配置したオブジェクトを用意しました。コマンドバーの[このドキュメントまたは選択オブジェクトを PNG 画像として出力]を①クリックして、画像ファイルとしてエクスポートします。



7 エクスポートダイアログの設定をする

エクスポートするためのダイアログが表示されるので、エクスポートする画像の領域やサイズを指定します。エクスポート領域の[ページ]①をクリックし、解像度は[96dpi]②にしておきます。

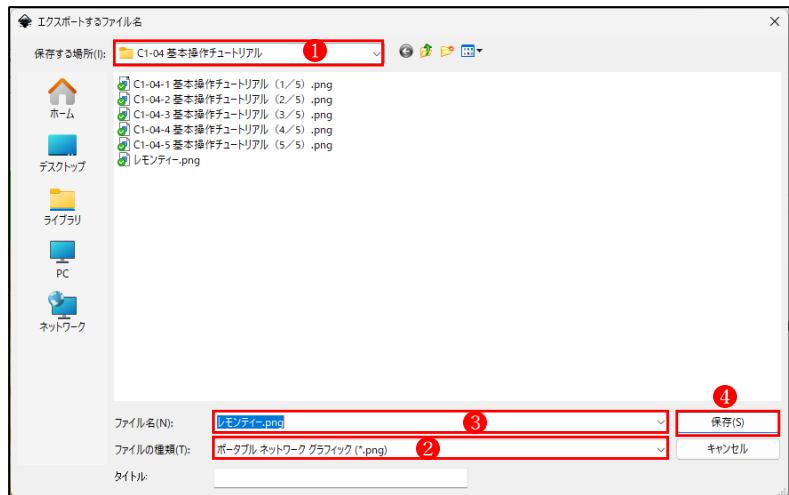
エクスポート先を設定するために、③をクリックします。

MEMO 解像度について

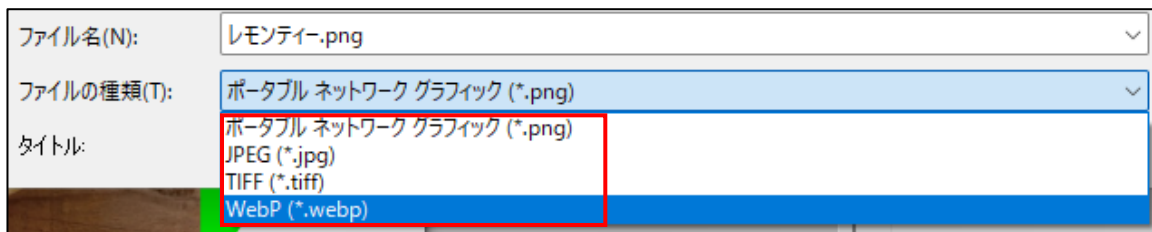
dpi とは解像度の単位で、1 インチ(2.54cm)をいくつの点(ドット)に分割するかを決めるものです。目安として、ディスプレイ用であれば 90dpi 以上、印刷物であれば 300dpi 以上が推称されています。



- 8 エクスポート先を設定する
- エクスポート先を設定するダイアログが表示されるので、[フォルダ] ①を選択し、[ファイルの種類] ②を指定し、[ファイル名] ③を入力します。最後に[保存] ④をクリックします。



- ✧ ファイルの種類は、次の4つの種類から選べます。(以前はPNGのみでした。)



9 エクスポートを実行する

以上の手順で画像のエクスポートが実行されます。

なお、1度画像のエクスポートを実行した後に、さらに別のファイル形式でも保存したい場合は、④をクリックしてファイルの種類を選択し直し、最後に[エクスポート] ⑤をクリックします。

